

商店街活性化事業計画の概要

地 域	京都府京都市	認定日	平成23年3月31日
-----	--------	-----	------------

事業名：アーケード撤去に伴う商環境整備と顧客へのもてなしの強化事業

事業者名：パレット河原町商店街振興組合（京都府京都市）

事業実施期間 平成23年4月～平成28年3月

■商店街活性化事業の概要

・安心・安全・環境共生をテーマにした、まちなみ景観の形成と低炭素化を推進するポストアーケードの商環境整備。「人と緑にやさしい街づくり」のコンセプトで、地域住民、多世代間の交流機会の創出を図る。

・組合会員を対象にした研修会の実施、地域マップ等の整備、更には各店舗の魅力向上に努め、観光都市の玄関口にふさわしい「おもてなしの商店街」としてイメージを確立し、地域内外からの来街者を増加させる。

■商店街活性化事業の内容

◆地域住民ニーズ

・地域住民を対象にしたアンケート調査によると、現状の悪い点として、歩道の歩きにくさ、不揃いなまち並み、魅力ある個店が少ないという意見が多くあった。また、現状を改善する提案を問うたところ、歩道の仕様向上や安全管理、景観への配慮、夜間照度の確保などの要望が回答数の上位を占めた。

◆実施計画の主な内容

・商環境整備事業への取組

既存のアーケードを撤去し、各個店毎のシェード(軒庇)、LED街路灯等を設置する。また、電柱の地中化などの公共工事と連携し、街路のバリアフリー化や植栽による緑化を推進する。これらによって、地域住民と環境に優しい商環境を形成する。更に街路整備の効果を検証する社会実験を実施すると共に、広告物などについて商店街共通のルールをつくる。

・もてなしの強化事業への取組

観光案内や多言語への対応など、各個店が「まちなか観光案内所」の役割を果たせるよう、研修会等の実施により、来街者へのもてなしの強化を図る。加えて、地域資源を再発見させる商店街マップなどを活用し、常に内外への情報発信をする。更には、商店街名「パレット」にちなんで、季節毎の色をテーマに外部講師の指導を受け、店頭装飾などで各個店の魅力向上につなげる。それら各個店の取組みは、地域住民によるコンテスト形式で評価する。

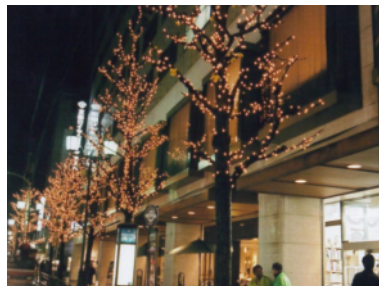
■商店街活性化事業計画の目標

・商店街の来街者数を実施計画終了時に、平成22年度と比較して10%増を目指す。（平成22年（休日3時間通行量）9,883人 →平成28年 10,902人）

【商店街の様子】



【商店街の様子】



【商環境整備後のイメージ】

